



国立大学法人  
総合研究大学院大学

湘南国際村フェスティバル 2013

# サイエンスカフェ

科学を伝える

»2013 5/3

話し手 Oh Daehyun

〔総合研究大学院大学 天文科学専攻〕

## 「第2の大航海時代」(日本語)

15世紀から17世紀のヨーロッパは船に乗って広大な海と新しい世界への探検が続く、いわば大航海時代でした。探検、開拓、冒険、ロマンが溢れ、旅人の不思議な異世界の話に大勢の人々が夢中になる時代だったのです。その時と比べると、地球の隅々まで人間の足跡が届くようになった21世紀は冒険のロマンが消えてしまったかのようにも思えます。しかし、大航海時代は終わったのではなく、次元を変えて新しく生まれ変わっています。船は宇宙船に変わり、海はさらに広大な宇宙空間に広がっている。この第2の大航海時代の中で、我々はまだ太陽系という小さな海辺に最初の一步を踏み出したにすぎません。講演では、南アフリカで行われている、星の誕生を明らかにするための天文観測の最前線について紹介します。

話し手 根津朝彦

〔国立民族学博物館 外来研究員〕

## 「ジャーナリズムと言論の自由」(日本語)

歴史学の研究者の立場から、戦後日本のジャーナリズム史についてお話をします。

具体的には1961年に中央公論社を襲った言論テロである「風流夢譚」事件(別名は嶋中事件)をテーマにします。これは『中央公論』1960年12月号に深沢七郎が発表した小説「風流夢譚」に端を発した言論事件で、同事件によって論壇の一角を占めていた総合雑誌『中央公論』の論調が大きく変容することになりました。この事件を中心にジャーナリズムと言論の自由の関係を考察します。

話し手 Emmanuel A. Mpolya

〔総合研究大学院大学 生命共生体進化学専攻〕

## 「Transformation through synergistic research paradigms: my Japan story」(英語)

It is a story of circle of increasing diameter. Each increase being a research experience that strengthens the one before it. An experience that holds a big promise to the continent of Africa.

司会：眞山 聡

〔総合研究大学院大学 助教〕